

1年間お疲れさま 宇和島城すす払い

12月23日



1年分の汚れを落とし、その年の厄を払う「すす払い」が宇和島城で行われ、城山を守る会とシルバー人材センター、市職員の約40人が、宇和島のシンボルの労をねぎらいました。

参加者は、まず児童公園に集合し、平成27年(末年)の年男の西澤 昌平さんと石崎 勝さんによってすす払いの儀式が執り行われました。その後天守に登り、3～4mの竹笹でできたハタキなどを使って、埃をはたいていきました。

天守が一掃されると、宇和島伊達家に伝わる小笠原流の鏡餅を恵方にお供えしたり、参加者が手作りしたしめ飾りを飾ったりするなどし、宇和島伊達家400年目の年を迎える準備を整えていました。



中国浙江省象山県との 友好都市交流

11月24日

本市と友好都市の中国浙江省象山県へ、宇和島市友好訪問団(市長ほか11人)が訪問しました。象山県とは、平成3年の旧吉田町当時から友好都市として交流が始まって以来友好を深めています。

今回訪問団は、象山県の木材市場や建設中のマンションなどを視察した後、宇和島市の木材市場を通して今後のどのように経済交流を進めていくかについて、象山県人民政府農林関係部局や林業関係者と協議を行いました。

また、交流の一環で行っている柑橘農業技術研修生の受け入れについては、昨年10月に4人が来宇し、受け入れ農家やえひめ南農業協同組合の共選場などでの



研修を行いました。研修を無事終了した研修生は、1月5日に帰国の途につきました。

感謝と覚悟、そして決意 1月2日 845人が大人の仲間入り

平成27年成人式が、南予文化会館で行われ、平成6年度生まれの845人中、693人が出席しました。出席者は、自分たちをこれまで育ててくれたことへの感謝、成人として今後困難に立ち向かっていく覚悟、そして夢に向かい努力していく決意を新たにしました。

新成人を代表して、川上 純佳さんと赤松 春奈さんが司会を担当、岩崎 佳奈さんと出淵 陸さんが記念品を受け取り、赤松 瑠梨さんがお礼の言葉を述べました。

式典の後に上映された中学生時代の映像では、懐かしい思い出にあちこちで歓声があがりました。また、校区ごとに行われた記念撮影では、久しぶりの友人たちとの再会を喜びました。



「特殊詐欺被害防止に関する協定」 調印式

12月5日

12月5日(金)、宇和島警察署と宇和島市、鬼北町、松野町の間で「特殊詐欺被害防止に関する協定」が結ばれ、協定書への調印式が宇和島警察署で行われました。

この協定は、警察と行政が一体となって、振り込め詐欺などの特殊詐欺被害を防止するために、宇和島警察署と各市町が情報共有などの協力体制を構築し、連携を強化していこうとするものです。今後、被害撲滅を目指してさまざまな取り組みが期待されます。

